

糸

Embroidery
Information
Technology

VOL.
162

MAGAZINE FOR EMBROIDERERS

2026年 新年号

刺繍業界の技術・情報総合誌 —— [えいと]

力強く駆け抜ける馬のように スピード感を持って変革!



高付加価値を生み出す企業体質へと転換

CONTENTS

- ① 年頭所感 経済産業省 製造産業局 生活製品課長 渡邊 宏和
- ② 新年のごあいさつ
全国中小企業団体中央会 会長 森 洋
日本ジャガード刺繍工業組合 理事長 箕田 順一
- ③ 新年のごあいさつ
日本ジャガード刺繍工業組合 顧問 左藤 章
- ④ タジマ工業株式会社 / 株式会社バルダン
- ⑤ 新春の名刺広告

- ⑥ 〈企業紹介〉 タジマグループ
- ⑦ //
- ⑧ 第6回「いい刺しゅうの日コンテスト」表彰式
- ⑨ //
- ⑩ タジマ工業の新工場見学会を実施
- ⑪ 第59回 FISMA TOKYO
- ⑫ 〈JEAだより〉 令和7年度 第5回 理事会議事録
新年互礼会のご案内 / 表紙の解説

Barudan

工業用刺繍機のリーディングカンパニー

BEKT シリーズ

オールニュー単頭機

タッチパネル式LCD搭載により、視認性・操作性が大幅に向上しました。

LAN 1ポート / USB 1ポート 標準装備



MODEL
BEKT-S501CAII



MODEL
BEKT-S901CBIII



MODEL
BEKT-S1501CII

BEKY-CII シリーズ

高生産性、高品質な刺繍のテーブルドロップ機



MODEL
BEKY-S1506CII

基本スペックを磨き上げた
新世代テーブルドロップ機シリーズ
サーボモーター駆動による
圧倒的な高生産効率
新型頭部搭載による高い静音性
タッチパネル式LCD
USB 1ポート / LAN 1ポート / COM 1ポート
リモコンコネクタ 1 標準装備

BEKS シリーズ

超高速多頭機

バルダンの技術の粋を集約した
1200rpm.
超高速多頭刺しゅう機
圧倒的な信頼性と高生産効率を誇る
最新鋭多頭機シリーズ
タッチパネル式LCD
USB 1ポート / LAN 1ポート / COM 1ポート
リモコンコネクタ 1 標準装備



MODEL
BEKS-Y920H

製造元 **株式会社 バルダン**
〒491-0014
愛知県一宮市南小淵字大日 1 番地 1
TEL(0586)77-0404 FAX(0586)77-1499
<https://www.barudan.co.jp/> E-mail:info@barudan.co.jp

年 / 頭 / 所 / 感

●経済産業省 製造産業局 生活製品課長
渡邊 宏和



令和八年の年頭にあたり、謹んで新春のお慶び申し上げます。

世界では、米国の関税措置や、米中欧をはじめ各国による自国優先の大規模な産業政策の展開など、自由主義経済に代わる新たな国際秩序が生まれようとしています。国内に目を向けると、昨年は、賃上げや国内投資が約30年ぶりの高水準となり、名目GDPも初めて600兆円の大台を超えるなど、日本経済に明るい兆しが現れています。また、繊維産業においても、輸出が増加傾向にあること、昨年を上回る賃上げ率となったこと、そして我が国から世界初となる技術開発への試みが開始されるなど、様々な変化がみられました。

また、「大阪・関西万博」は、大変な盛況を博しました。中でも、パビリオン展示やスタッフユニフォーム等について、繊維業界から多大なるご協力をいただき、我が国が誇る繊維企業の優れた技術を活かした様々な製品が世界に向けて発信された素晴らしい機会となりました。この機会を契機として、注目を集めた我が国の繊維企業や製品がインバウンド需要を含む外需をより獲得していくべく、事業環境の整備を進めていくことが必要になると認識しています。

繊維産業は、衣食住（ライフスタイル）を担う根幹の産業です。我が国の繊維産業は、これまで厳しい国際競争で培われてきた卓越した技術力、繊細な表現力により、私達の日々の暮らしの質をより良くし、生活文化の発展にさせることができる産業です。繊維産業の宝である職人の洗練された技術、芸術性、創造性は、世界からも高く評価され、革新的な製品を生み出す力として期待されています。

今年は、繊維・アパレル業界にとって、新たな挑戦の年になると考えています。我が国の繊維産業が創造する素晴らしい価値を更に高め、次世代に引き継いでいくためには、輸出拡大も含めた成長戦略、産業の国際競争力強化の重要性がますます高まっています。業界が一丸となって解決すべき課題に果敢に立ち向かえるように、経済産業省としても、今後、5つの繊維産業政策を産学官の力を結集して推進してまいります。

第一に、価格転嫁・取引適正化の徹底に向けた更なる後押しです。我が国の繊維産業の持続的な成長や労働環境整備のためには、適正な取引、適正な利潤の確保は不可欠です。しかしながら、エネルギーや原材料価格の高騰等により製造コストは上昇しているにも関わらず、価格転嫁が十分に進んでいない繊維企業が存在し、一部では歩引きが残っている実態があります。適正な取引、適正な利潤の確保ができれば、更なる賃上げの原資となり、人手確保の切り札にもなります。そうした中、昨年度の通常国会で改正した「中小受託取引適正化法（取適法）」・「受託中小企業振興法（振興法）」が本年1月1日に施行されました。今回の改正により、適用対象となる取引や事業者の範囲が拡大され、中小受託取引の公正化と受託側の中小企業の利益保護が強化されます。これらを踏まえ、改訂が予定される「繊維産業の適正取引の推進と生産性・付加価値向上に向けた自主行動計画」、「繊維業界における適正取引に向けた自主行動計画の徹底プラン」、「パートナーシップ構築宣言」等の実施徹底について業界と連携してまいります。

第二に、繊維産地におけるサプライチェーンの強靱化です。国内繊維産業のサプライチェーンは、従業員の高齢化・人手不足、取引先等の生産拠点が海外移転することの影響等により、毀損リスクが顕在化しています。こうした状況を踏まえ、経済産業省では、令和6年10月より「繊維産地におけるサプライチェーン強靱化に向けた対応検討会」を設置し、事業継続や価値向上、多様な主体の連携を図るべく議論を進め、令和7年11月に報告書を公表しました。報告書では、産地が抱える課題と目指すべき発展の方向性を整理するとともに、国、産地企業、組合、自治体、金融機関等の役割も明確化しています。また、近年見受けられる新しい取組として、オープンファクトリー等を通じた関係人口の創出、国際認証の取得、デジタル化の推進、ブランディング強化に向けた共同投資なども取り上げています。今後は、こうした各主体による連携した取組を後押しし、国内の繊維産業における持続可能なサプライチェーンの実現を目指してまいります。

第三に、外需の獲得です。持続可能なサプライチェーンの実現のため、インバウンド需要を含む外需を獲得していくことは、我が国の繊維産業

にとって極めて重要な要素です。一方、現状では一部の事業者が個別の手法で海外に輸出している状況であります。そのため、令和7年10月に「繊維産地から目指す次世代繊維企業の外需獲得に向けた研究会」を立ち上げ、日本の繊維産業の国際競争力、各産地や工程ごとの強みとなり得る分野について、海外展開に取り組んでいる企業や産地の中核企業、商社等と共に議論をしております。繊維産業の皆様とも議論をし、繊維産地が取り組むべき方向性や政府等の役割を改めて明らかにし、国内の繊維産業における外需の獲得を後押しできるよう、検討を続けてまいります。

第四に、繊維産業における人材不足の解消です。繊維産業においては、令和6年9月より追加要件を課した上で、一定の専門性・技能を有し即戦力となる特定技能1号外国人の受入れが可能となっております。経済産業省では、繊維産業に課された特定技能制度における追加要件のうち「国際的な人権基準に適合して事業を行うこと」への対応として、令和7年3月に、日本の繊維産業の監査要求事項・評価基準である「JASTI（Japanese Audit Standard for Textile Industry）」を策定し、同年4月から第三者監査制度として運用を開始しました。特定技能1号外国人の受入れが進んでいることを踏まえ、熟練した技能を要する業務に従事する外国人材の今後の受入れの在り方について、検討してまいります。また、令和9年度から技能実習制度に代わって人手不足分野における人材の育成・確保を目的とする育成就労制度においても、特定技能制度で課されている追加要件が課される見込みとなっており、育成就労制度へ円滑に移行できるよう、業界の皆様と連携しつつ、準備を進めてまいります。さらに、人手不足に悩む中小企業等の売上拡大や生産性向上を後押しするため、中小企業省力化投資補助金やものづくり補助金による生産設備の自動化等の支援策を用意しています。こうした取組を通じて、繊維産業における人材不足の解消と持続可能な成長を目指してまいります。

最後に、サステナビリティへの対応です。サステナビリティの取組は企業の競争力強化の観点からも重要な課題です。すでに欧州等の一部のアパレル企業においては、自社の人権や環境に配慮した取組を証明するため、第三者の認証機関が担保する国際認証の取得が進んでおり、今後、国際社会においてサステナビリティ確保に向けた法整備や対応等が進展する中、我が国の繊維企業がグローバルに産業競争力を維持・強化していくためには、企業による環境配慮や人権尊重に向けた取組が不可欠です。経済産業省では、2024年に策定された「繊維製品における資源循環ロードマップ」に基づき、官民の連携を通じて様々な取組を推進しております。例えば、衣料品のリサイクルについては、国内繊維メーカーを中心とした連携による複合品の分離・リサイクル技術の研究開発・実証事業が、「バイオものづくり革命推進事業」に採択され、昨年10月には繊維の資源循環の実現に向けたコンソーシアムも設立されました。また、環境配慮設計の推進については、一昨年策定した「繊維製品の環境配慮設計ガイドライン」の普及及びJIS、ISO化に向けた取組等による供給面の整備や、公共調達による需要創出を図る観点からの、グリーン購入法の基準の見直しの検討を進めてまいります。さらに、情報開示の推進については、一昨年策定した「繊維・アパレル産業における環境配慮情報開示ガイドライン」の普及を引き続き実施しております。併せて、欧州で検討が進むデジタルプロダクトパスポート制度も参考にしつつ、環境配慮設計や情報開示等を促進する観点から、情報流通プラットフォームの構築にも取り組んでいるところです。

今年の干支は「午」となります。力強く駆け抜ける馬のように、我が国の繊維産業もスピード感を持って変革を進め、世界に向けて新たな価値を届けていけるよう、経済産業省としても、繊維産業の皆様と密に意見交換を図りながら、様々な施策を総動員し、創意工夫をもって前向きかつ意欲的に取り組む事業者の皆様方を応援してまいりますので、皆様の一層の御理解・御支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、貴協会始め、我が国の繊維産業が大きな変革の時代を乗り越え、飛躍する一年になることを祈念して、新年の挨拶とさせていただきます。

謹んで新春のお慶びを申し上げます

年頭に当たって

●全国中小企業団体中央会 会長
森 洋



明けましておめでとうございます。令和8年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年、戦後80年の節目の年でした。中小企業・小規模事業者は、激変する経済環境の中で多くの困難な課題を克服しながら、その時々の経済、社会環境に対応出来るよう積極果敢に挑戦を続け、わが国経済の発展に大きな役割を果たして参りましたが、現在、新たな経営課題が山積しております。関税の引上げをはじめとする自国中心の政策の影響が世界経済に大きな影響を与え、国内でもインバウンド消費額も影響を受けることに加え、依然として物価高騰が続く中での人手不足と賃上げへの対応が急務となるなど、中小企業・小規模事業者を取り巻く経営環境は、厳しい状況に直面しております。

こうした中で、昨年11月12日に広島県広島市で開催した第77回中小企業団体全国大会では、関係省庁・関係機関をはじめ多数のご来賓をお迎えし、全国各地から中小企業団体の関係者約2,100名が参集し、

- I. 中小企業・小規模事業者等の経営環境変化対応、成長促進支援等の拡充
- II. 中小企業・小規模事業者の実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進
- III. 中小企業・小規模事業者の積極的な事業活動を支える環境整備

の実現に向けて、組合関係者の皆様と共に取り組んでいくことを決議しました。

地域の人口減少に加え地域課題が多様化・複雑化していることを踏まえつつ、十分な価格転嫁と取引適正化、物価高を上回る賃上げ、事業承継・事業引継、自然災害対策、DXやGXの推進、新分野展開、ものづくり補助金や

省力化投資補助金による生産性向上、リスクリング等の「人への投資」、外国人育成就労制度・特定技能制度への対応策などの最重要事項については、中小企業組合等連携組織による知恵と力の結集により解決を図ることが必要です。今年も中小企業と組合が我が国の力強い成長を実現する原動力であることを強く思いながら、会員の皆様との連携を一層強化し、対応して参ります。

結びに、丙午の年は「勢いとエネルギーに満ち、大きく飛躍・発展していく」といった意味合いをもつ年とされています。本年が、中小企業組合と中小企業・小規模事業者の皆様の情熱に満ちたご活動が実を結び、力強く飛躍される年となりますことを心よりご祈念申し上げます。新年のご挨拶いたします。

令和8年元旦

新しい市場の開拓へ

●日本ジャガード刺繍工業組合 理事長
箕田 順一



新年明けましておめでとうございます。

組合員、賛助会員の皆様には、日頃より組合活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。令和八年の年頭にあたり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

さて、我が国経済は緩やかな回復の兆しが見られる一方で、物価上昇や人手不足、エネルギーコストの変動など、企業経営にはなお不確実性が残っております。とりわけ我々中小・小規模事業者にとっては、賃上げと価格転嫁、生産性向上をいかに両立させていくかが大きな課題となっています。受託加工に依存した刺繍ビジネスの事業構造は、一見安定しているように見えても、外部環境の変化によって容易に収益が揺らぐ脆さを内包しています。「下請け」という枠に安住するのではなく、新しい市場を開拓し、自ら価値を創出し、価格決定権を持ち、高付加価値を生み出す企業体質へと転換していくことが不可欠です。

げます



また、中小企業庁が推進するDXは、生産性の向上や業務の効率化にとどまらず、経営判断の高度化や新たな付加価値の創出につながる重要な取り組みです。近年では、生成AIをはじめとする先進的なデジタル技術の活用により、企画立案やデザイン補助、事務作業の省力化など、その可能性は刺繍メーカーにおいても大きく広がっています。こうしたデジタル化への対応は、もはや選択肢ではなく、業界全体にとって喫緊の課題と言えるでしょう。「変化を恐れる者は衰え、変化を受け入れる者は成長する」という言葉のとおり、時代の変化を前向きに捉え、一步踏み出す姿勢が、これからの刺繍メーカーには求められています。DX化や刺繍機等への設備投資、新たな取り組みに対しては、国や自治体が用意する各種補助金・助成金を積極的に活用し、将来に向けた競争力強化につなげていただきたいと考えています。

昨年は、大阪文化服装学園校との共同事業として、11月4日に「第6回 いい刺繍の日」コンテストを開催いたしました。3年目の最終年となる本年度は、12月11日に大阪文化服装学園校にて表彰式を行い、工夫を凝らした刺繍作品が多数入賞するなど、企業・学生双方にとって大変充実したコンテストとなりました。

また5月には、アマゾン本社への視察会を実施しました。当日は、アマゾンにおける最新の事業戦略や新たな出店形態、販売支援の取り組みについて説明を受け、デジタルを活用した販路拡大の可能性を改めて実感する機会となりました。実際の運営事例に触れることで、刺繍業界においても、従来の取引形態にとらわれない新たな市場開拓のヒントを得る、大変有意義な視察となりました。

今年度は、アマゾンUSAへの出店を計画しております。本取り組みを一つの足がかりとして、各社が自社開発商品や独自の技術を世界市場へ発信し、新たなビジネスチャンスを創出していくことができるものと期待しています。ぜひ本組合を情報共有や挑戦の場として活用いただき、次なる飛躍につなげていただきたいと思います。

本年が、組合員ならびに賛助会員の皆様にとって、成長を実感できる一年となりますことを心よりお祈り申し上げます。

令和8年 新年のご挨拶

●日本ジャガード刺繍工業組合 顧問
元防衛・内閣府各副大臣
元衆議院議員
左藤 章



新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、恙なく新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。旧年中は、日本ジャガード刺繍工業組合 箕田順一理事長をはじめ、組合員の皆様方には、ひとかたならぬご厚情を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年7月の参議院議員選挙の結果、皆様からのご支援を賜りながらも、大阪を含め全国的に自民党は議席を大幅に失う結果となりました。改めてお詫び申し上げます。その後、衆参両院において少数与党となる中、わが国初の女性総理となる高市内閣が発足し、自民党は日本維新の会と連立を組み、新たな政権運営が始まりました。

令和7年度補正予算は約18兆円規模で成立し、物価高対策としてガソリン暫定税率の廃止、子育て世帯への給付、電気・ガス代の支援などが講じられました。さらに令和8年度からは、長年の課題であった「年収の壁」を178万円に引き上げる減税措置も決定されております。物価対策、経済の活性化、外交・防衛、子育て・教育支援などを通じ、「強い経済」「強い日本」の実現に向けた取り組みが進められています。

そのような中、日本のものづくりを支えてきたジャガード刺繍産業は、長年にわたり培われた高度な技術と職人の知恵によって、繊維産業のみならず、服飾・インテリア・文化産業の発展に大きく貢献してまいりました。大量生産では決して表現できない繊細さや奥行きは、日本が世界に誇る技術力であり、今後も高付加価値化や技術継承を通じて、さらなる可能性を秘めていると確信しております。

本年2026年は丙午（ひのえうま）にあたり、「飛躍」「成功」「勝負運」を象徴し、前向きで活力に満ちた年とされ、60年に一度巡ってくる縁起の良い組み合わせでもあります。皆様におかれましては、ご健康にご留意の上、箕田理事長を中心に一致団結され、日本が誇る技術力をもってさらなる飛躍を遂げ、明るい未来を築かれますことを心よりお祈り申し上げます。

結びに、引き続きのご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



タジマ工業株式会社



●タジマグループ 代表
兒島 成俊

新年あけましておめでとうございます。旧年中は格別のご愛顧を賜り、心より御礼申し上げます。

昨年は、日本初の女性総理大臣の誕生や大阪・関西万博の開催など、日本に関する動きが国際的な関心を集めた一年となりました。そうした中、当社も刺繍サービスの提供を通じて大阪・関西万博に参画し、刺繍が人の記憶やつながりを生む表現として活用される場面が増え、その社会的価値の高まりを強く感じております。

こうした刺繍の価値の広がりや踏まえ、タジマグループは、刺繍ビジネスに携わる皆様とともに、確かな品質と心を動かす体験をお届けすることで、刺繍が選ばれ続ける未来の実現に向け、歩みを進めてまいります。昨年11月の FISMA TOKYO 2025 では、「より安定した高品質の実現」や「生産性の向上」へのご要望がこれまで以上に高まっていることを実感しました。いただいたお声を踏まえ、今後もお客様のご要望に真摯に向き合い、品質・安定性の向上と、刺繍が活用される新たな領域への価値提供に取り組んでまいります。

「世界の刺繍カンパニーとして、未来に驚きと感動を。」このビジョンのもと、タジマグループは、その刺繍技術により世界中で喜びを創出するとともに、問題解決に挑み、お客さまの成功、そして地域・社会の繁栄に寄与するというミッションの実現に向け、本年も歩みを進めてまいります。

末筆ながら、皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしく願い申し上げます。

なお、3月には ASM OSAKA 2026 への出展を予定しております。お近くにお越しの際は、ぜひお気軽にお立ち寄りください。

<今後の出展予定>

※詳細はタジマグループ公式サイトをご覧ください。

大阪 | ASM OSAKA 2026(出展:株式会社精研)

会期:2026年3月6日(金)~3月7日(土)

Barudan

株式会社バルダン



●株式会社バルダン 代表取締役
長谷川 伸

新年明けましておめでとうございます。旧年中は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、一年を通して気候の変動が大きく、例年にも増して春秋の期間が短く感じられる一年でした。弊社の商売に関しても、非常に寒暖差の激しい一年となりました。アメリカを中心として安定需要が続いていた最中、4月にトランプ関税が導入されて以降、大手顧客を中心として投資計画が先延ばしになったり、アジア諸国においては、アメリカ向け製品の急激な減産を余儀なくされるといった事態が多数の顧客において発生し、弊社においても大きな影響が出ました。9月以降、市況は一定の回復を見せているものの、安定感と呼べるには程遠い状況が続いています。弊社の生産においても、世界9カ国10社に有する現地法人のネットワークを駆使して、目まぐるしく変わる需要のピックアップに奔走していますが、調達部門や生産ラインには負担をかける毎日が続いています。

弊社は、昨年10月念願の本社社屋が完成し、本社全部門の機能を一カ所に集約しました。100年企業を目指す我々にとって、新社屋の完成はかけがえのない第一歩となりました。最新の設備をもって更なる効率化に努め、営業、技術セミナーや研修を通じて販売代理店やお客様との接点を増やし、今後の製品開発やブランド力強化につなげてゆきます。弊社新社屋において、近い日に皆様とお会いできることを楽しみにしております。

最後になりますが、小職は昨年12月15日に開催された弊社株主総会並びに取締役会において、代表取締役社長に就任致しました。業界のリーディングカンパニーとして、オンリーワンの技術に磨きをかけ、競合に埋没しないブランド企業の構築を目指して邁進して参ります。

本年もどうぞ宜しく願い致します。



新春のごあいさつ申し上げます

2026年元旦



<p>株式会社 バルダン</p> <p>代表取締役 長谷川 伸</p> <p>〒491-0004 愛知県一宮市南小渕字大田1番地1 TEL. 0586-77-0404 FAX. 0586-77-1499</p>	<p>タジマグループ</p> <p>代 表 兒島 成俊</p> <p>〒486-0901 愛知県春日井市牛山町1800番地 TEL. 0568-90-6510(代) FAX. 0568-90-6511</p>
<p>オゼキ株式会社</p> <p>代表取締役 尾関 章光</p> <p>〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄5-2-21 TEL. 052-261-1881 FAX. 052-261-1888</p>	<p>ディー・エム・シー株式会社</p> <p>代表取締役 小山田 光晴</p> <p>〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町13番地 山東ビル7F TEL. 03-5296-7831 FAX. 03-5296-7833</p>
<p>株式会社 ミノダ</p> <p>代表取締役 箕田 順一</p> <p>〒101-0032 東京都千代田区岩本町3-2-2 TEL. 03-3866-8400 FAX. 03-3866-8509</p>	<p>株式会社 笠 盛</p> <p>代表取締役会長 笠原 康利</p> <p>〒376-0005 群馬県桐生市三吉町1-3-3 TEL. 0277-44-3358 FAX. 0277-44-3387</p>
<p>株式会社 タカオ</p> <p>代表取締役社長 林 悌生</p> <p>〒500-8444 岐阜県岐阜市西明見町17-1 TEL. 058-274-7121 FAX. 058-274-8116</p>	<p>株式会社 マークス</p> <p>代表取締役 田中 博</p> <p>〒861-5535 熊本県熊本市貢町780-12 TEL. 096-245-2000 FAX. 096-245-5500</p>
<p>ゴードエムビー株式会社</p> <p>代表取締役 合田 陽一</p> <p>〒594-1144 大阪府和泉市テクノステージ3丁目4番1号 TEL. 0725-58-8100(代) FAX. 0725-58-8018</p>	<p>株式会社 山 神</p> <p>代表取締役社長 齊藤 衛</p> <p>〒536-0022 大阪府大阪市城東区永田3-10-2 TEL. 06-6969-3734 FAX. 06-6963-7247</p>
<p>高津刺繍工業株式会社</p> <p>代表取締役社長 高津 勝春</p> <p>〒531-0041 大阪市北区天神橋8丁目10番6号 TEL. 06-6358-1061 FAX. 06-6358-7981</p>	<p>株式会社 タナベ刺繍</p> <p>代表取締役社長 田部 智章</p> <p>〒769-2604 香川県東かがわ市西村1023 TEL. 0879-25-5108 FAX. 0879-25-1919</p>

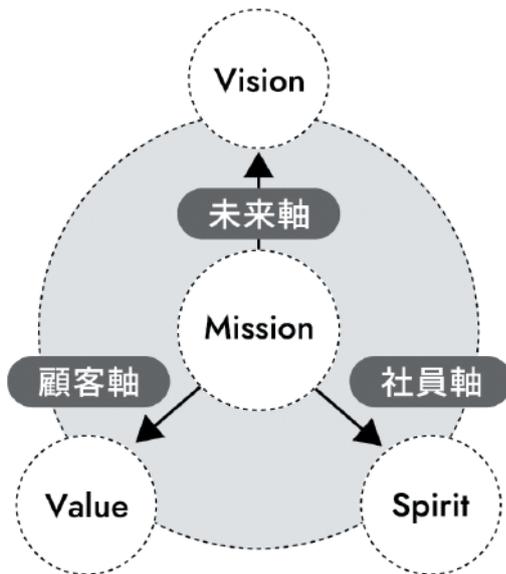
タジマグループ

「世界一の刺繍カンパニーとして、未来に驚きと感動を。」

タジマグループは刺繍技術を基盤に、挑戦とイノベーションを続けてきました。これまでの発想にとらわれず、お客様や社会が抱える多様なニーズに向き合い、製品とサービスを統合することで、刺繍体験全体を支える最適なソリューションを提供しています。

TAJIMA WAY

TAJIMA WAYは、タジマが大切にしたい・価値観を形づくる指針です。Missionを出発点に、未来の描き方、価値の捉え方、行動のあり方——この3つの柱が、私たちのものづくりと行動を支えています。



- Mission** 刺繍技術、喜びの創出と問題の解決、三方よし経営
- Vision** 世界一の刺繍カンパニーとして、未来に驚きと感動を
- Value** 品質とイノベーション
- Spirit** 利他の心

タジマのコア技術 —— 縫いの技術 × 枠の制御技術

タジマのコアは、縫いの技術(ステッチ形成への深い理解)と枠の制御技術(枠を高速に動かし正確に止める制御技術)の融合です。この"刺繍技術"を基盤として刺繍事業を深化させ、他分野にも展開、新たな市場を開拓していきます。

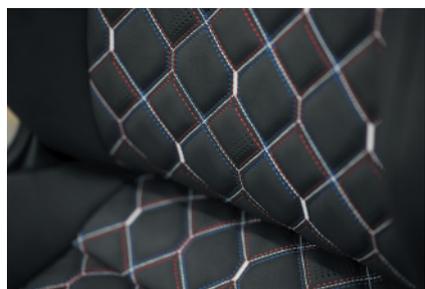
深化 刺繍事業

従来の発想にとらわれず、ハードとソフトの両面からお客様や社会の課題に向き合い、刺繍の可能性を広げます。



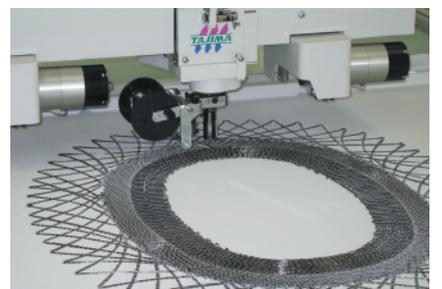
展開 縫製事業

高精度な穴加工と多色縫製刺繍により、美しさと機能性を兼ね備えたキルティングをモビリティなどの多様な分野へ提供しています。



開拓 先端事業

素材を自在に縫い留める“縫い”の技術により、カーボンファイバーや光ファイバー、電熱線などの先端素材を自由な形状・配向で扱うことを可能にします。



匠の精度を、すべての人に。

これまで精緻で美しい刺繍には、熟練したオペレーターによる刺繍機の操作が必須といわれてきました。その一方で、少子高齢化やライフスタイルの変化など、社会の移り変わりによって求める人材の確保が難しく、刺繍業界も例外ではありません。そこで、タジマは独自に開発したAI技術「i-TM」と自動布押え「DCP」によって刺繍品質の高位平準化と生産性の向上を実現し、熟練したオペレーターがいない生産現場でも品質の高い刺繍を安定的に生み出すことを可能にしました。これらの技術は、既存の刺繍工場はもちろん、新たに刺繍ビジネスに挑戦する方々にとっても、高品質な刺繍を容易に再現できる生産基盤として機能します。



ハード×ソフトの「トータルソリューション」

個人の嗜好が多様化し、パーソナライズビジネスが潮流となりつつある中で、タジマは独自のAI技術やデジタル技術を活用し、「高品質な刺繍の安定生産」と「生産の見える化」を実現してきました。刺繍機本体とソフトウェアを組み合わせて提供することで、お客様のビジネスに適したソリューションを設計し、効率的な工場運営を支援します。刺繍サプライチェーン（受注～生産）を包括的に支援する「DG.NET SaaS」により、生産状況の可視化、工場全体の生産性向上、納期と収益性の改善にも貢献します。タジマは、お客様をハードとソフトの両面からサポートできる体制を整えています。



～ タジマのグローバルネットワーク ～

タジマグループは、世界各地のサポート拠点とともにグローバルにビジネスを展開しています。市場ニーズや生産現場の変化する課題に対応すべく、2022年にはカナダのソフトウェア企業をグループに迎え、デザインから生産管理まで一貫してサポートできる体制を強化しました。地域ごとのニーズや文化に応じ、導入後のフォローや技術支援を通じて、世界中のタジマユーザーに寄り添ったサービスを提供しています。



TAJIMA AMERICA CORP.

北中南米全域の代理店、及びお客様をサポートするサービスセンター、タジマグループの米州市場拠点。



TAJIMA EUROPE S.A.S.

欧州全域の代理店、及びお客様をサポートするサービスセンター、タジマグループの欧州市場拠点。



TAJIMA SOFTWARE SOLUTIONS INC.

パーソナライゼーションに対応する、タジマグループのソフトウェアの開発・サポートの拠点。

第6回「いい刺しゅうの日コンテスト」表彰式

JEAの協業事業は2025年で終了

日本ジャガード刺繍工業協同組合（JEA、箕田順一理事長）と大阪文化服装学院（OIF）の協業事業、第6回「いい刺しゅうの日のコンテスト」表彰式が12月11日、同学院で行われ、最優秀賞はじめ各賞受賞者を表彰した。この事業は、生徒が創作したデザインをプロが作品に完成させ、さらに「あべのハルカス学園祭」で一般消費者に販売するというもので、JEA協業は2025年で3年を迎えた。2023年から24年、25年と続いたこの事業は2025年をもって終了と発表された。



あいさつする豊田OIF理事長



あいさつする箕田JEA理事長

表彰式にあたって、豊田晃敏OIF理事長は「JEAさんとの協業事業は3年続きましたが、今年で打ち切りとなります。集大成として生徒はじめ企業の皆様に参加いただいた。山神の齊藤社長、大阪府の小野さんの声かけでスタートしたこの事業は、3年間で161点のデザインが集まり、24年では19社の企業が制作に関わっている。生徒には、刺しゅうのことで学んだこと、経験を生かして、これからの作品に反映してもらいたい」と述べた。

JEAの箕田理事長は「学生の皆さんの自由な発想を得ることができ、楽しく、刺激的な事業になった。私どもでは、若い感性が加わり、ものづくりに広がりができるなど、業界の発展につながるアイデアを残してもらった。学生のみなさんには、刺しゅうの経験をデザインに生かして、活躍されることを期待しています」と感謝を述べた。

また、齊藤実行委員長（山神社長）は、3年目に入り、作り手のことを考えた図案が目立ったのが印象に残っていると、今回で打ち切りとなった事業については、新しい企画、組合員の有志があれば、何らかの形で提案、



JEAグランプリ&JAE×OIFコンテストデザイン部門最優秀賞を受賞した藁田かなみさん（左）と（株）山神・齊藤社長



OIFデザイン部門最優秀賞を受賞した田中詩乃さん（左）と制作担当の株式会社笠盛



続けて行きたいと締め括った。

表彰式は「JEAいい刺しゅうの日コンテスト部門」
「JEA×OIFコンテスト デザイン部門」「大阪服装文化服

装学院 (OIFデザイン部門)」の順に行われた(別記)。

受賞者一人ひとりに表彰状が手渡され、参加者全員揃っての記念撮影(写真上)で終了した。

第6回「いい刺しゅうの日コンテスト」表彰者一覧

【JEAいい刺しゅうの日コンテスト部門】

<JEAグランプリ>

株式会社 山神 / デザイン 藁田かなみ

<JEA準グランプリ>

株式会社エミュ・ラクサイ / デザイン 三苦心愛

株式会社 山神 / デザイン 藁田かなみ

<優秀デザイン賞>

ゴードエム株式会社 / デザイン 行本明日香

株式会社 山神 / デザイン 小菌輝久

株式会社 山神 / デザイン 藁田かなみ

<優秀技術賞>

株式会社ミノダ / デザイン 木村帆花

株式会社エミュ・ラクサイ / デザイン 三苦心愛

株式会社 山神 / デザイン 小田根愛里

<優秀生産賞>

株式会社 笠盛 / デザイン 田中詩乃

ゴードエム株式会社 / デザイン 伊賀かな

高津刺繍工業株式会社 / デザイン 坪井詩歩

<優秀創作賞>

株式会社タカオ / デザイン 大橋一華

株式会社エース・エンブ / デザイン 徳田千乃

株式会社 山神 / デザイン 城梨々香

【JEA×OIFコンテストデザイン部門】

<最優秀賞>

藁田かなみ / 制作 株式会社 山神

<準優秀賞>

大橋一華 / 制作 株式会社タカオ

<優秀賞>

藁田かなみ / 制作 株式会社 山神

李諾怡 / 制作 株式会社タカオ

行本明日香 / 制作 ゴードエム株式会社

林佳儒 / 制作 株式会社ミノダ

駒村叶夢 / 制作 株式会社タカオ

【大阪服装文化服装学院(OIFデザイン)部門】

<最優秀賞>

田中詩乃 / 制作 株式会社 笠盛

(敬称略)

タジマ工業の新工場へ

22人が参加しての充実した視察見学会

昨年11月7日、1944年設立の老舗刺繍機メーカー、タジマ工業の新工場見学会を実施した。参加者は22人。“匠の技”を再現するAI 技術搭載の最新「TMEZ シリーズ」、などを見学した。また、スキャンひとつで刺繍データの管理から機械への送信までが完了する、刺繍サプライチェーンの包括支援システム「DG.NET SaaS」を体感するなど、充実した見学会となった。

見学の後、会議室へ移動し、専門の担当者からの説明会が行われた。ここでは、刺繍機について、AIの進化にともなう進化、すぐれた機能性など、スクリーンを見ながらの詳細な説明があった。これを受



説明会のようす

けて、参加者からは積極的な質問が飛び交い、時間いっぱいまでの情報交換で盛り上がった。見学会終了後、懇親会が行われ、参加者同士のコミュニケーションを図ると



ともに、「とても勉強になった。最新の機器、情報をキャッチできたことで、これからの仕事に役立つ」などの声もあり、有意義で楽しい時間を満喫した(写真)。

タジマ工業は2022年にカナダのソフトウェア企業をグループに取り込み、ハード・ソフト両面から刺繍ビジネスの変革を目指す。国内外に60社以上の代理店網と160カ国以上の販売実績を持ち、手厚いサポート体制も強みとしている。



タジマ工業(株) 視察会 参加者

ディー・エム・シー株式会社
トーホー株式会社
横山特殊マシン株式会社
株式会社精研
株式会社ミノダ
株式会社ミノダ
株式会社笠盛
株式会社タカオ
株式会社マークス
ゴードEMB株式会社
ゴードEMB株式会社

小山田 光晴
山仲 巖
横山 英司
八田 雅隆
箕田 順一
松吉 由美子
笠原 康利
林 悌生
田中 結祈
藤村 洋輔
雑賀 翔真

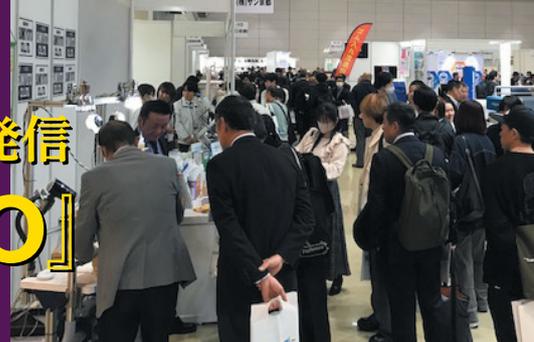
株式会社山神
株式会社オーキッド
高津刺繍工業株式会社
株式会社キング刺繍
有限会社ベストプレイ
田中刺繍株式会社
田中刺繍株式会社
株式会社パワー
日装株式会社
事務局

齊藤 衛
廣瀬 裕詞
高津 顕頼
富谷 悠羽
粟野 肇
堀川 義人
田中 拓造
渡辺 弘幸
Ao Miyasaka
小椋 信
合田 英子

活気ある雰囲気のもと広範分野に向け情報発信

『第59回 FISMA TOKYO』

(主催:東京都ミシン商工業協同組合)



東京都ミシン商工業協同組合(立川健夫理事長)主催の「第59回FISMA TOKYO(東京ファッション産業機器展)」は、11月12日と13日の2日間、東京ビッグサイト・西3ホールにおいて開催され、2日間で7,646人(前回7,987人)が来場した。

今回は、『未来につなぐNIPPONのモノづくり』のテーマのもと、サブタイトルとして「アパレル、自動車・航空宇宙、インテリア、レジャー・スポーツなど裁断・縫製・プリント加工の全てが結集」と銘打ち、「衣類を製造するだけの縫製設備という既存概念の壁を越え、新しい発想や技術を披露し、働き手不足・人件費の上昇や、熟練技能者の高齢化・不足に悩む縫製関連生産工場に、生産性の高い機器や熟練オペレーターのスキルが再現できる商品の紹介、セットアップに掛かる時間の削減やメンテナンスの効率化など、どのようにすれば生産性を上げることができるのか」を提案し、広範にわたる最先端技術を発信した。また、ホームユースのミシンにおいても、一般家庭へのミシンの普及、クラフト・アトリエでの暮らしの中でのモノづくりの楽しみも紹介。

さらに、各社の展示に加えて、主催者企画による注目の展示とセミナーなどが充実。「展示コーナー」では、「様々な分野で活躍する縫製関連機器」として、新たに設定した展示会のサブタイトルを具体的に見せるスペースを設置。インテリア関連から、鞆や靴などの革製品、自動車のシートやエアバッグ、軟らかさや強さが求められる工業製品まで、裁断や縫製、プリント加工など、様々な製品の製造過程や加工機器が紹介された。

また、特別展示コーナー『ファクトリーブランドの創り方～100年、200年、300年後も続く、NIPPONのモノづくりのために～』では、日本アパレルソーイング工業組合連合会協力のもと、自ら発信する力を持つと立ち上がった縫製工場を紹介。縫製企業6社参加により、日本の縫製工場、モノづくりの現状、技術力の高さを魅せた。

初日、テープカットで幕を開けた会場には、オープンと同時に受付に来場者が列をなし、こうした光景が幾度となく訪れていた。縫製設備メーカー各社からは、先進性を追求した商品ラインが数多く出展されるとともに、国内ものづくり基盤の活性化に向け、ユーザー企業の抱える人手不足や技術継承、品質・生産性の安定・向上などの課題解決に向けた様々な提案が行われた。

出展各社からは「目的意識を持って訪れている来場者が目立った」、「来場者の滞留時間も長く熱心」、「発表された数値以上に来場者数が多く感じられた」という声をはじめ、「産業用繊維縫製分野の来場者ともコンタクトでき、今後のビジネスに期待している」、「予定していた商談もまとまった」など、ビジネスステージとしての成果も聞かれた。会場では、今後を見据えての課題を解決しようと情報収集に積極的で、初日3,844人(前回4,210人)、2日目3,802人(同3,777人)が来場。活気ある雰囲気のもと2日間の会期を終えた。次回(第60回)は、2026年11月12日～13日に開催。

【バルダン】

(株)バルダンでは、単頭・多頭の各種コンピュータ刺繍機をはじめ、最新バージョンの生産管理・ネットワークソフト「B-NET」などを紹介。

多頭モデルでは、サーボモーター採用により、圧倒的な高性能を発揮し、サンプル生産や試縫いから量産まで対応する万能モデル「BEKY-Y906II」。各種完成品枠をはじめ充実したアタッチメント類に対応し、あらゆる刺繍加工ニーズをカバーする「BEKY-S1504CII」は、サーボモーター採用により、圧倒的な高性能・高品質を誇る新型テーブルドロップ機の最高峰モデル。

このほか、ニードルパンチ用デバイスを多頭モデルに搭載しての実演にも注目を集めていた。単頭モデル「BEKTシリーズ」では、幅広い製品へのネーム刺繍やマーク刺繍に最高品質のステッチクオリティで応える「BEKT-S501CAII」。大型タッチパネル式LCD搭載により、視認性・操作性が大幅に向上。また、「BEKT-S501CBIII」は、小径シリンダー用の新型クランプ枠を搭載。生地保持力の向上とともに、生地を逃がす懐スペースが拡大。大きな刺繍面積・多頭式刺繍機と同じ機構を採用し、高い生産性を誇る工業用単頭式刺繍機の上位モデル「BEKT-S1501CBIII」は、業界最小クラスのシリンダーを搭載し、突っ込みフックを排除した糸切り機構を採用。小径シリンダーの特徴を生かす多様なアタッチメント類と組み合わせることで、従来不可能であった箇所への刺繍を可能としている。



バルダンでは最新のコンピュータ刺繍機・ソフトを紹介



多頭機に搭載のニードルパンチにも注目

【タジマ】

タジマ工業(株)のブースでは、独自のAI技術を搭載した単頭・多頭機をはじめ、最新モデルを紹介。AI機能を搭載した完成品刺繍向けシングルヘッド「TMEZ-SC」は、タジマの最新技術を搭載したシングルヘッド/シリンダータイプのフラッグシップモデル。ユニホームや帽子、靴下、バッグなどへのネーム刺繍やマーク加工、ショップでの刺繍加工などに適している。独自のAI技術「i-TM」と自動布押え「DCP」を標準搭載し、初心者から経験者まで、面倒な調整作業なしに最適な縫い上がりで刺繍を生産でき、精密で美しい仕上がりを実現する。



AI技術搭載の単頭・多頭機をはじめ最新モデルを披露



令和7年度 第5回 理事会議事録

日時 令和7年11月7日
 場所 名古屋市勝川駅 貸会議室
 出席者 理事…箕田 順一、笠原 康利、林 悌生、齊藤 衛
 高津 勝春、田中 博、合田 陽一
 田中 俊明、小山田 光晴
 監事…幸 弘幸(1名中1名)
 議事録作成者…高津 勝春

〈議事の経過の要領及び結果〉

定刻になり代表理事箕田順一が議長席に着き、本会は有効に成立した旨を告げて議案審議に入る。

●第1号議案 第6回いい刺しゅうの日表彰式について
 11月初旬に大阪文化服装学院様と日時打ち合わせをする。齊藤理事に依頼。

●第2号議案 組合活動について
 前回の理事会でAmazon USに出店する事を組合事業として進めることを承認。理事長・副理事長が出店し、結果に基づいて組合員に提案する。
 えいと161号より、コストダウンとなり広告掲載削減について、事務局より提案されましたが今後の組合活動の為に引き続き掲載していただく方が良いという意見があり承認された。

以上をもって本会の議案の全部が終了したので、議長及び出席理事、監事次に記名押印す。

新年互礼会のご案内

【日時】令和8年2月6日(金) 18:00~20:00

【会場】Party バンケットホール Garden-ガーデン-京都駅

〈ホームページ〉<https://ke9p800.gorp.jp/>

〈住所〉〒600-8234 京都府京都市下京区西洞院通塩小路下ル南不動堂町806

アパホテル京都駅前B1(地下鉄烏丸線 京都駅 徒歩4分)

〈TEL〉050-5493-5231

【会費】お1人様 7,000円

【申込】右のQRコードより「調整さん」に登録してください。

●未定ではございますが、「講演会 工場見学 美術館見学」等も予定しております。多数のご参加をお待ちしております。



表紙の解説

「産官学の協業」で学んだ事を次の飛躍へ



JEA入会のご案内

刺繍加工業を営業されている方は、どなたでも入会できます。また、刺繍関連の機器、器具、素材、デザイン、その他の事業をされている方は賛助会員になれます。事務局までお申し込みください。

〈JEA事務局〉

TEL 06-6585-7118

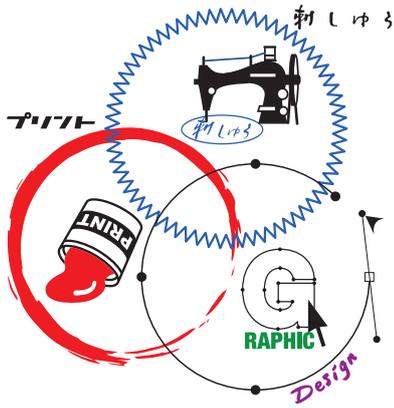
FAX 06-6585-7119

携帯 090-1131-1647

E-mail info@sishu.or.jp

組合ホームページ <http://sishu.or.jp>





株式会社 **タカオ**

企画・提案から
ものづくりまで

本社 岐阜市西明見町17-1 〒500-8444
電話 058-274-7121 / FAX 058-274-8117
<http://www.takao71.com> ☒ info@takao71.com

プリント 有限会社タカオプリント
岐阜市西明見町16
電話 058-276-0393 / FAX 058-276-8646

刺しゅう 株式会社タカオ刺しゅう
2021年8月1日設立

ティッシュ

紙を取ると
噛みつかれて
神がつく!?

小物・雑貨の作成もゴータEMBまで
ご相談ください。

ゴータEMB株式会社

〒594-1144
大阪府和泉市テクノステージ
3丁目4番1号広光印刷ビル 2F
Tel: 0725-58-8100 Fax: 0725-58-8018
<http://www.godaemb.co.jp/>



ものづくり × 可能性 創造企業



EMBROIDERY
&
EMBLEM

株式会社 ミノダ



「Tropical Water 3D」
刺繍だけでなくレース・プリント・
チャーム等のあしらいで立体的表現



いきいき
創造を
未来に



高津刺繍工業株式会社

〒531-0041 大阪市北区天神橋8丁目10番6号
TEL (06) 6358-1061 FAX (06) 6358-7981

刺繍ミシン、どちらを選ぶ？

自動で高品質の刺繍を！

AI 機能搭載 モデル



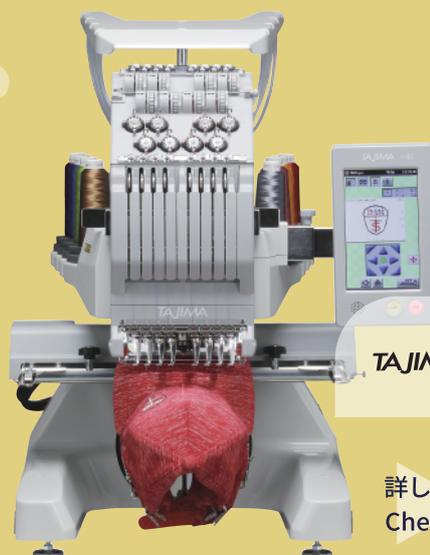
TMEZ-SC

詳しくは
Check!



必要なものは全てセット！

軽量・コンパクト モデル



TAJIMA SAI

詳しくは
Check!



便利な自動仕上がり調整

- ✓ **誰でもプロ品質**
AI自動調整で高品質の仕上がり
- ✓ **生産効率UP**
試縫い時間を大幅に削減
- ✓ **厚手生地OK**
貫通力が高い／ばたつきを抑える

初めてでも安心

- ✓ **刺繍ソフト付属**
ソフト付属はTAJIMA彩だけ！
- ✓ **簡単操作**
画面に沿って操作するだけ
- ✓ **高耐久性**
24時間以上連続稼働OK

出展
情報

第101回東京国際ショナル
ギフト・ショー
春2026

タジマブース：東5-T16-35

2026.2.4(水) - 6(金) 東京ビッグサイト

刺繍ビジネス開拓のチャンス！是非ご来場ください



タジマ工業株式会社
〒486-0901 愛知県春日井市牛山町1800番地
TEL (0568) 90-6510

東日本地区総代理店
横山特殊ミシン株式会社
〒110-0005 東京都台東区上野3-14-6
TEL (03) 3833-4521

西日本地区総代理店
株式会社 精研
〒530-0047 大阪府枚方市長尾家具町3-12-3
TEL (072) 856-8253

中部地区総代理店
中日本ジューキ株式会社
〒453-0835 愛知県名古屋市中村区石川町3-33
TEL (052) 412-1215

九州地区総代理店
野中ししゅう機販売株式会社
〒812-0007 福岡県福岡市博多区東比恵3丁目25-25-102
TEL (092) 482-3631